

今日のトピック 豪ドルの足元の状況と今後の見通し

資源価格の上昇などから豪ドルは底堅い推移へ

ポイント1 豪ドルの対円相場は上昇基調

資源価格の値上がりを反映

- 豪ドルの対円相場は、昨年半ばを底に上昇基調を辿っています。英国による欧州連合（EU）離脱選択などの影響が一巡したことでリスク回避の動きが後退し、原油や鉄鉱石をはじめとする資源価格の上昇が素直に豪ドル相場に反映されてきたと考えられます。

ポイント2 政策金利は当面据え置き 景気は緩やかな拡大の見通し

- 2016年7～9月期にマイナス成長に陥った豪州経済は、これまでの利下げの効果や労働市場の堅調持続等による家計消費、住宅投資の拡大を軸に、今後緩やかに持ち直す見通しです。特に、17年後半には資源セクターによる設備投資の調整一巡も見込まれ、景気拡大のペースが速まると考えられます。
- 賃金の底入れや原油価格の堅調さ等により、消費者物価の上昇率は、緩やかに高まる見通しです。17年後半には、消費者物価上昇率が豪州準備銀行（RBA）の目標である+2%～+3%のレンジの下限に到達する見込みです。RBAは、少なくとも17年いっぱい政策金利を現行の1.50%で据え置きと予想されます。

(円/豪ドル) 豪ドルの対円レートと鉄鉱石価格 (米ドル/トン)



(注) データ期間は2015年3月2日～2017年1月5日。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

豪ドル円レートの変動要因

豪ドル円レートの変動要因	足元の状況 (豪ドルへの影響)
日豪金利差	金利差拡大で高金利通貨としての魅力が増す。 ・RBAの利下げ打ち止め見通し (豪ドル高) ・日銀の金融緩和が継続 (豪ドル高)
資源価格	資源輸出拡大で豪ドルの買いが活発化。 ・原油や鉄鉱石、非鉄金属価格の持ち直し (豪ドル高)
中国景気	中国向け輸出拡大で豪州景気が向上。 ・中国経済は安定しつつある (豪ドル高)

(出所) 三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 資源価格の上昇などから、豪ドルの対円相場は底堅い推移へ

- 鉄鉱石や非鉄金属の価格は昨年後半の上昇ピッチが速かっただけに、目先的には調整局面入りの可能性もあります。しかし、資源の一大消費国である中国経済が、公共投資の拡大に加え、民間投資の立ち直りにより、安定しつつあります。資源価格は徐々に持ち直す予想されます。
- 一方、豪日の金利差に目を転じると、政策金利据え置き見通しのRBAに対し、日銀は緩和スタンスを維持する方針です。ここから豪日の金利差が一段と縮小する公算は小さいと考えられます。資源価格、中国経済、日豪金利差等から判断すると、豪ドルは底堅く推移する見込みです。

ここもチェック! 2016年12月30日 今年を振り返るキーワード⑤「資源価格」(グローバル)
2016年12月22日 2017年中国経済の見通し

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。